



A-coop クミアイ

第②類医薬品

解熱鎮痛錠

鎮痛薬

特徴

- クミアイ 解熱鎮痛錠は、すぐれた効果の鎮痛・解熱成分にそれらの働きを助ける成分を配合した非ピリン系の解熱・鎮痛剤です。
- とけやすく、はやく効きます。
- のみやすい小型の錠剤です。
- 胃に対する刺激が弱くおだやかな成分を用いています。



使用上の注意

してはいけないこと



(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります。)

- 次の人は服用しないでください。
 - 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人
 - 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。

(眠気があらわれることがあります。)
- 服用時は飲酒しないでください。
- 長期連用しないでください。

相談すること



- 次の人は服用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください。
 - 医師又は歯科医師の治療を受けている人
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - 水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザににかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15歳未満)
 - 高齢者
 - 本人又は家族がアレルギー体質の人
 - 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - 次の診断を受けた人：心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
- 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください。
 - 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	悪心・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)等があらわれる。
ぜんそく	

- 5～6回服用しても症状がよくならない場合

効能・効果

- 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛（生理痛）・外傷痛の鎮痛
- 悪寒・発熱時の解熱



用法・用量

なるべく空腹時をさけて服用してください。服用間隔は6時間以上おいてください。

年 齢	1 回 量	1 日の服用回数
15歳以上	4 錠	2 回まで
7 歳～14歳	2 錠	
5 歳～6 歳	1 錠	
5 歳未満	服用しないこと	

用法・用量に関連する注意

- (1)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (2)錠剤の取り出し方
図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用してください。
（誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。）



成分・分量

1 日 量（8 錠） 中

成 分	含 量	は た ら き
エテンザミド	1,000 mg	痛みをおさえ、熱を下げます。
アセトアミノフェン	600 mg	
アリルイソプロピル アセチル尿素	120 mg	鎮静作用により、不安やいらいらをしずめます。
無水カフェイン	150 mg	頭痛をやわらげ、鎮痛効果を増強します。

添加物として、乳糖、二酸化ケイ素、クロスカルメロースNa、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸Caを含有する。

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり、品質が変わります。）
- (4)使用期限（外箱に記載）を過ぎた製品は服用しないでください。

お問い合わせ先

クミアイ家庭薬相談窓口
電話：0238-46-2013
[月～金曜日 9：00～17 00（祝日を除く）]

販 売 者 **全国農業協同組合連合会**

製造販売者 **協同薬品工業株式会社**
山形県東置賜郡川西町大字西大塚930